

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている			
	やや良く なっている	スナック（店 長）	お客様の様子	・TVドラマの効果で景気が上向きになった。また、学 会があり、いつになく県外の客が多く、売上が伸び た。
		タクシー運転手	お客様の様子	・県外客が増え、夜の街がいつもより多くなってい る。
		設計事務所（職 員）	販売量の動き	・3か月前までは新築物件の計画がなかったが、最近 は計画、見積りともに増えている。
	変わらない	商店街（代表 者）	来客数の動き	・商圏内で大型店の進出があり、価格競争が激化して いる。消費者にとってはありがたいことだが、商店街 にとってはたまらない。
		百貨店（営業担 当）	お客様の様子	・先月に引き続き、金券の引換えが好調で、回収高も 前年に比べて伸びている。通常の催事は良いが、クレ ジット催事は非常に落ち込んでおり、1割還元でも客 は戻ってこない。表面上は良く見えるが、現実には厳しい。
		スーパー（店 長）	販売量の動き	・従来は食品以外ではコーディネート販売として2、 3点買い上げていたものが1点になっている。食品も 含めて販売量がかなり減っている。
		スーパー（企画 担当）	お客様の様子	・客単価は相変わらず低迷しているが、客数は増加し ている。しかし必要なものを必要な量だけ買うとい う心理状態は変わらない。
		旅行代理店（従 業員）	販売量の動き	・バリ島でテロが発生したため、バリ島ツアーは中止 となったが、他のツアーにはあまり影響しなかった。
		通信会社（営業 担当）	単価の動き	・客単価が下がって利益率も落ちる中で、総利益、売 上を伸ばそうとして非常に忙しくなる。その影響で顧 客の新規開拓が出来なくなるといった悪循環が繰り返 されている。
		テーマパーク （職員）	来客数の動き	・ビッグイベントの時は、宿を取るのが困難な状況に なっているが、その前後はまだ空気が多い。
		観光名所（職 員）	来客数の動き	・ゴルフ場は、相変わらず人数は少ない状況で推移し ており、売上も落ち込んでいる。通常のコンペでも、 年4回するところを3回に減らすという傾向が続いて いる。観光は、ほぼ前年並みの数字になったが、いい 材料は見られない。
		住宅販売会社 （従業員）	販売量の動き	・予算的に非常に厳しい人が結構いる。借入れ額を増 やしたくないために予算が合わないことが多い。
	やや悪く なっている	一般小売店〔鮮 魚〕（店員）	単価の動き	・来客数も減ったが、それ以上に客が買わなくなっ た。
		一般小売店〔青 果〕（店長）	競争相手の様子	・競合相手の3か月前の販売量を見ると、ジワジワと 目に見えて減っている。
		百貨店（総務担 当）	販売量の動き	・この時期に売上を牽引すべき衣料品、特に婦人服の 冬物の動きが鈍い。
		百貨店（営業担 当）	来客数の動き	・来客数の減に加えて現金での購入がかなり減ってい る。
		百貨店（売場担 当）	販売量の動き	・客数はほぼ前年並をキープしているが、売上は前年 比9割である。客の様子を見ている限り、買い控えを している。
		百貨店（業務担 当）	お客様の様子	・爆発力のあるヒット商品が見当たらず、あっても限 られた世代だけに売れるので継続性がない。売上に関 しても一過性のものであり、継続した伸びを示さな い。
		スーパー（取締 役）	競争相手の様子	・競合店の価格が低価格で乱れており、客も価格に敏 感になっている。販売点数も以前より若干少なくなっ ている。
	コンビニ（経営 者）	それ以外	・客は、単価の安い物が出るとそればかり買って いき、以前の単価のものは売れずにいる。仕入先が支払 についてナーバスになっている。	
	コンビニ（販売 促進担当）	販売量の動き	・コンビニのもっとも主力となるパン、弁当が、前 月、その前に比べてかなり悪く、前年比85～90だっ た。また、季節商品として中華まんを出しているが、 これも前年割れで売上を落としている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		衣料品専門店（総務担当）	単価の動き	・高額品、ブランド品の売上が前年を下回っている。高額品の値下げを待っているようで、今後も値下げが続く。
		乗用車販売店	販売量の動き	・新型車投入にもかかわらず、販売量が前年に比べてさほど伸びていない。
		高級レストラン（スタッフ）	お客様の様子	・11月の大相撲九州場所関係の予約や忘年会の予約も低調である。
		都市型ホテル（総支配人）	単価の動き	・インターネット販売の価格競争が激しくなっている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・以前は朝晩の忙しい時間帯が決まっていたが、最近は朝から晩までずっと同じような状態で客の動きがない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・大手造船所の事故以後、夜飲みに行くことを控えているせいか客の動きがかなり減っている。
		通信会社（業務担当）	販売量の動き	・限られた市場の中で、携帯電話も大手量販店が安売り攻勢に出ており、粗利低下とともに台数も伸び悩んでいる。
		美容室（店長）	来客数の動き	・セールスのDMを出したのに、思ったよりも来客数が少ない。
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・いろいろなキャンペーンをやっているが、来客数が増えるどころか減っている。
	悪くなっている	コンビニ（経営者）	単価の動き	・客単価がいいときには830円くらいあったものが今は560円に落ち込んでいる。
		コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・これまでは商品が安ければ売れていたが、近頃は安くしただけでは購入せず、値段に見合う価値があるかどうかで客が購入を判断している。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・大きな祭りがあったが、平日だったので観光客が非常に少なかった。また、大手造船所の事故もあり、ショックを受けた。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・来客数はある程度保っているが、客単価の落ち込みがここに来てひどい。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・客がローンを組むときに、「大丈夫だろうか」とか「均等払いにしておかないとボーナスが出なかったときに心配だ」という理由で商談が長引く傾向にある。
		その他専門店【ガソリンスタンド】（統括）	競争相手の様子	・同業他社はどこもガソリン価格の利益確保を優先している。体力があれば、まだ安値で他社との優位性をつけて客を集めるところだが、それができないほど厳しいようである。
		高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・大手造船所の事故の影響で市民の景気に対するマインドが悪くなり、お金を使わない気風が見えている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・1日に10名以上の来客があったのは3日しかなかった。1～2名で来る客が多いので売上は前年比4割減であった。
		競輪場（職員）	単価の動き	・客は増えているが売上に反映されておらず、購入単価が非常に下がっている。
		企業動向関連	良くなっている やや良くなっている	-
農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き			・10月に入り、冷凍食品メーカーの需要期に入っており、加工原料の引き合いが強い。スーパー向け商品も安定した動きになり、新しい企画商品の要求も強くなっている。
	電気機械器具製造業（経営者）		受注量や販売量の動き	・半導体は引き合いが増えてきた。
変わらない	農林水産業（従業員）		受注価格や販売価格の動き	・食品に対する安心安全へのニーズもあるが、それ以上に低価格志向が進んでいる。
	窯業・土石製品製造業（経営者）		受注量や販売量の動き	・本来10月は最も商品の流れが良く、売上も伸びる時期だが、今年は7月とほとんど変わらない受注量と売上である。
	電気機械器具製造業（経営者）		取引先の様子	・ここにきて企業格差が現われている。また、半導体業界の仕事量は、大手ともども変動が大きくなっている。
	精密機械器具製造業（経営者）		取引先の様子	・取引先の中でもまあまあの部門がある一方、特にIC関連を中心とした客において受注の増加が考えられない。
	建設業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・公共工事の減少、入札制度等の改革により受注が厳しくなり、受注しても利益が少ない。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
		建設業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注額は増加しているものの、利益確保は非常に厳しい。	
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・例年は受注が多くなっていく時期だが、例年に比べ落ち込みが激しく、全体的には厳しく落ち込んでい	
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・企業の設備投資は依然として慎重な動きが続いている。百貨店等でブランド品の売れ行きに陰りが出ている。	
	やや悪くなっている	家具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・九州では建材メーカーを中心に中小企業の倒産が続いている。まわりの環境も物件量を含めて好転の兆しがない。	
		金属製品製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・客は下がった価格を基準にさらに価格交渉をかけてくるので価格の回復は望めない。	
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・官民とも発注量が減少していて、前年同期と比較しても3分の1しか受注がない。	
	悪くなっている	繊維工業（営業）	受注価格や販売価格の動き	・物価が下がりつづけており、国内での生産ではとても単価が合わず海外へ流れていくことが多い。	
		経営コンサルタント	取引先の様子	・取引先の価格交渉が激化していて、値引が通常になっている。特に焼酎の大型サイズが顕著である。価格を下げているところほど売れており、通常価格を設定しても消費者も飛びつかない。メーカーが経営のスリム化を図っているが、もう限界である。	
	雇用関連	良くなっている	-	-	-
		やや良くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・10月だけ見ると、求人数が前年をかなり上回っているが、この好調が今後も続くかどうかはわからない。
新聞社〔求人広告〕（担当者）			求人数の動き	・中規模の広告枠が増えている。	
職業安定所（職員）			求人数の動き	・新規求人数が7月に比べて約31%上昇している。就職件数（常雇）が約10%増加している。	
変わらない		職業安定所（職員）	求人数の動き	・製造業を中心に若干の改善の動きが見られるが、その主流は請負業務、派遣事業等の求人である。	
やや悪くなっている					
悪くなっている		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・年末にかけ、電気機械機具製造業3社、中小造船業1社、食料品製造業1社、サービス業1社、卸売業1社で事業所閉鎖または縮小に伴う30人から100人を超える規模の人員整理、解雇が実施あるいは計画されている。	
	学校〔専門学校〕（就職担当）	雇用形態の様子	・正社員よりも3～4時間毎の短時間労働者を何人も雇うような雇用形態になっている。35歳以上の女性の就職はなかなか厳しい。		